

第4回渋川市子ども・子育て会議 会議録

項目	内容	
開催日時	令和2年1月24日（金） 午後4時00分から午後4時45分まで	
開催場所	渋川市役所 大会議室	
出席者氏名	委員	17名
	事務局	5名 福祉部長 こども課長 少子化対策係 係長、係員2名
	その他	1名 計画策定コンサルティング（株）アールピーアイ栃木
議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 (1) 市民意見公募実施結果報告 (2) 「伊香保保育所」及び「かに石幼稚園」の認定こども園移行について（経過報告） 4. 議事 第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画（最終案）について 5. その他 6. 閉会	
会議結果	計画（最終案）について、会議にて承認を得る。 なお、以下のとおり修正を加えること。 ・ P9 第2章第1節自然動態：平成30年は「662人のマイナス」 ・ P26 第2章第5節「1. 社会全体での少子化の対策に向けた取り組みの推進」：就労の場所の確保について追記 ・ P36 第4章第2節基本目標2：「母性」→「妊娠・出産時の女性」	

発言者	議題・発言内容及び決定事項
会長	<p>1. <u>開会</u></p> <p>2. <u>あいさつ</u>            渋川市子ども・子育て会議 会長 斎藤 周            渋川市福祉部長 諸田 尚三</p> <p>3. <u>報告事項</u>  <u>(1) 市民意見公募実施結果報告</u>            (資料1) 市民意見公募実施結果報告            事務局より報告            (質疑応答なし)</p> <p><u>(2) 「伊香保保育所」及び「かに石幼稚園」の認定こども園移行について (経過報告)</u>            (資料2) 「伊香保保育所」及び「かに石幼稚園」の認定こども園移行について (経過報告)            事務局より報告            (質疑応答なし)</p> <p>4. <u>議事</u>  <u>第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画 (最終案) について</u>            (資料3) 第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画            事務局より説明</p> <p>ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>P9、第2章、第1節、「(6) 人口動態の推移」、自然動態は、「平成30年は668人のマイナスとなっています」とありますが、グラフでは「-662」となっております。</p>
事務局	<p>「662人のマイナス」に修正いたします。</p>

委員	P26、第2章、第5節、「1.社会全体での少子化の対策に向けた取り組みの推進」について、少子化は就労の確保をすることで改善すると思っております。「行政のみならず、子育てに関わる地域・企業…重要です」とありますが、「それとともに、関係機関との連携を図りながら、就労の場所の確保をすることが最重要課題である」ということを入れたほうが良いと思います。
事務局	再度調整をして、就労場所の確保に触れられるように検討します。
会長	就労場所がないと若い世代の人口が定着しないため、少子化が進行してしまうと思います。就労して、暮らしていけるということがあってこそ、人口減少や少子化を食い止められると思いますので盛り込んでいただければと思います。
委員	P46、第4章、第6節、1.子どもの交通安全を確保するための活動の推進、「キッズゾーンの設置」について、子どもたちを交通事故から守る対策とありますが、保育所等に通う園児は、歩いての登園はあまりないと思います。キッズゾーンとはどのようなものなのですか。
事務局	園外活動時の散歩等の経路について、車の運転手や地域の方々に注意を啓発するために設置するゾーンになります。半径500mのエリアにキッズゾーンを設置しますが、園外散歩の経路を重点的に、啓発看板の設置を考えております。
会長	通園時ではなく、園外活動時ということですか。
事務局	通園時の安全確保というよりも、園外活動時の安全確保が目的になります。
会長	それぞれの園の散歩コース等を調査する必要があるということですね。
事務局	すでに確認しておりますので、それを踏まえてゾーンの設定をします。

委員	半径 500m とは、園を中心に半径 500m ということですか。
事務局	はい。散歩等の経路が半径 500m を超えてしまう場合は、超えた部分もキッズゾーンとして設定したいと思っております。
委員	交通量が多い場所や道幅が狭いところもあるため、どのようにキッズゾーンを設置するのかイメージが湧きません。
事務局	地図上での半径 500m を周り、その中で、各施設から伺った園外活動の経路の部分を重点的にキッズゾーンとします。年度内に標識看板、啓発看板等の設置をしたいと考えております。併せて、P47、「キッズガードの配置」とありますが、園外活動時に子どもを見守る方として、渋川市では 10 人のキッズガードを配置しました。キッズゾーンを設定し、キッズガードに見守りをさせていただきながら、園外活動が安全に実施できれば良いと考えております。
委員	P34、第 4 章、第 1 節、2. 幼児教育・保育サービスの充実、「病児・病後児保育の充実」について、これは保育所等に通う園児が対象になると思いますが、小学生を対象としたものはないのでしょうか。
委員	小学校 3 年生までについては市と契約をしているため対象となっております。それ以上の学年は、中学生までは預かっている現状はありますが、市との契約はしておりません。
委員	学童など、学級閉鎖時に健康な子どもを預かってもらえる場所はあるのでしょうか。
事務局	その件について問い合わせを受けたことはありますが、放課後児童クラブはあらかじめ登録している方でないと利用ができず、急遽預けることはできません。ファミリーサポートセンターの体制が整っておりますので、そちらを活用していただければと思います。
委員	ファミリーサポートセンターは、自宅に来て見てもらえるものですか。

委員	自宅でも、預かって見てもらうことも、どちらもできます。
事務局	病児・病後児保育を小学校3年生まで契約しているという件につきましては、今回は事業計画なので計画には載せず、詳細についてはガイドブックやホームページで案内したいと思いますので、ホームページのPR等を進めたいと思います。
委員	<p>P26、第2章、第5節、「3.子どもたちの健やかな成長を守る支援体制整備の推進」について、「あらゆる問題を早期に発見し、適切に対応するためには、行政・医療機関・学校などが連携したネットワークの構築が重要であり」とありますが、どのようにネットワークを構築するのか、具体的に教えてください。</p> <p>P38、第4章、第2節、2.発達支援の充実、「年中児の発達相談・支援の充実」について、病児・病後児保育と同様に、適応障害を持った子どもたちが小学校にあがってからのサポートをどのように連携していくのか教えてください。</p>
事務局	<p>昨年6月から、子育て世代包括支援センターが立ち上がり、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援ができるよう、ネットワークの構築というところを大きな目標に掲げて、関係機関との連携を図りながらの取り組みが始まっております。</p> <p>発達相談支援につきましては、子ども発達支援センターの立ち上げに向けて取り組んでいるところなので、健康管理課で準備をしながら、子育て世代包括支援センターとも連携を図りながら取り組んでいきたいと思っております。</p>
会長	P36、第4章、第2節、基本目標2「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進」の施策について、「母性」という言葉では内容がわかりにくいと思うので、「妊娠・出産時の女性」としたほうがわかりやすいと思います。
事務局	表記について検討したいと思います。
会長	この場面で使われている母性とは、英語ではマタニティ、日本語では妊娠・出産ということにあてはまりますので、妊娠・出産時の女性と置き換えたほうが意味が伝わりやすくなると思いました。

その他にご意見がないようであれば、第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画（最終案）につきまして、承認としたいと思います  
がよろしいでしょうか。

一同承認

5. その他

事務局より、源泉徴収票について説明

6. 閉会

以上をもちまして第4回渋川市子ども・子育て支援事業計画策定  
庁内検討委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

【閉会】